

2026 年 7 月 23 日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

胆道消化管吻合術後に発症した魚骨迷入による胆管炎の臨床的特徴に関する後方視
的検討

研究の概要

【背景】胆道消化管吻合術後の胆管炎は、吻合部狭窄、胆石形成、腸液逆流などを原因として比較的高頻度に認められる術後合併症です。一方、消化管異物が胆道内へ迷入し胆管炎を引き起こす病態は稀であり、特に魚骨による胆管炎の報告は限られています。

【目的】胆道消化管吻合術後に発症した魚骨迷入による胆管炎症例について、患者背景、画像所見、内視鏡所見、治療内容および転帰を後方視的に検討し、その臨床的特徴を明らかにすることを目的としています。

【意義】本研究により、胆道消化管吻合術後の反復性胆管炎における稀な原因として魚骨迷入を認識する契機となり、診断精度向上および適切な内視鏡治療介入につながる可能性があります。

【方法】2018 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに長崎大学病院で胆道消化管吻合術後に発症した胆管炎症例のうち、内視鏡的または画像的に魚骨迷入を確認した症例を対象とします。診療録、血液検査、CT 画像、内視鏡画像および治療経過を後方視的に収集し、臨床的特徴について検討します。

対象となる患者さん

2018 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに、長崎大学病院で胆道消化管吻合術後に胆管炎を発症し、魚骨迷入が確認された患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景（年齢、性別、原疾患、既往歴）
- ・手術関連情報（術式、再建方法、手術から胆管炎発症までの期間）
- ・臨床所見（発熱、腹痛、黄疸の有無）
- ・血液検査結果（白血球数、CRP、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、総ビリルビン）
- ・画像検査所見（CT 所見、胆管拡張の有無、線状高吸収像の有無）
- ・内視鏡所見（魚骨の有無・性状、摘出方法）
- ・治療内容および治療経過（抗菌薬治療、内視鏡治療、経皮的治療の有無）
- ・転帰（改善の有無、再発の有無）

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」ま

でご連絡ください。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 3 月 31 日

研究実施体制【単機関】

研究責任者	所属：長崎大学病院 消化器内科 氏名：小澤 栄介 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7481
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
長崎大学病院における 試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 消化器内科 担当者名 小澤 栄介

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）